



明日は節分、暦の上ではもうすぐ春です

2月になりました。明日3日は、節分です。節分は季節を分けるという意味の雑節で、本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを指すはずだったが、そのうち立春の前日だけが残ったものとされています。節分（2月3日）には、「鬼は外、福は内」と豆（いった大豆）をまいて、邪気を祓った後に、年齢の数だけ豆を食べて、1年間の幸せを祈ると言われています。これは、米と同じエネルギー源で霊力を持つとされる豆をまくことで、病や災いを祓い、更にその豆を食べることで力をいただけると考えられたからだそうです。



また、最近では「恵方巻き」が浸透しつつあります。残念ながらわが家では、恵方巻きを食べる習慣がないので、今年の恵方は「東北東」と言われてもあまりぴんときません。

それぞれの地域や家庭で、様々な風習や習慣があると思います。そのことは大切にイベントを楽しめばよいと思います。



そして明後日4日は立春です。暦の上では、春が始まる日です。日中、太陽の陽射しがあると温かさが教室一面に伝わってきます。校庭の桜の木などは、この厳しい寒さを耐え抜いているからこそ、やがて春の訪れとともに芽を膨らませ見事な花を咲かせ、さらに生長していくことができるのだと思います。

人もまた、同じです。大人も子どもも、苦しい時や辛い時、時にはもういやだと投げ出したくなる時もあります。しかし、その先の「なりたい自分になるために」どうしたら良いのかを、まず考えることが大切です。そして、今の自分に何が足りないのか、どのようにすればよかったのか、少し出来るようになってきたなど、取り組んだ過程を振り返り、次への取り組み（挑戦）の活力に繋がればと思います。

「あい」のある学校の風景



【児童会役員選挙】



【朝の運動・大なわ】



【那高演劇部・やまなし】

保護者の働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります  
現在、全国の学校では、国（文部科学省）が定めた学習指導要領に基づき教育活動をすすめています。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動出来るようになって欲しいという思いが込められています。

子どもたちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります

その一例として、保護者の働きかけがある子どもの学力は高いという傾向があります。一度下記のチェックシートにいくつ☑が入るか確認してください。

- 学校や友だちのこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
  - テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
  - テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
  - 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている。
  - 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている。
  - 子どもに本や新聞を読むようにすすめている。
  - 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている。
  - 子どもに努力することの大切さを伝えている。
  - 子どもに最後までやり抜くこと大切さを伝えている。
  - 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
  - 子どもと何のために勉強するかについて話している。
  - 計画的に勉強するよう子どもに促している。
  - 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。
- （平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究より）

6年生の保護者のみなさんへ 寄贈本のお願い



卒業を機に小学校で読んでいた絵本や図鑑、辞典、物語の本など整理されるのであれば、山崎小学校に寄贈いただければと思います。

なお、雑誌や漫画本（日本の歴史マンガなどは歓迎します。）は対象としません。

随時受け付けていますので、学校まで持ってきてください。よろしくお願ひします。

